

ノブレクト™ 乳剤

Rinskor™ active

水稲用除草剤

- 2つの作用でノビエに安定した効果

ロイヤント乳剤でお馴染みのリンズコアと長年の実績クリンチャー、
2つの異なる作用で5葉期ノビエに安定した効果を発揮します。

- 直播栽培で問題となる雑草種に高い効果を発揮

ノビエ、アゼガヤ、クサネム、イボクサなど直播栽培で問題となる雑草種に優れた効果を示します。

- 優れた耐雨性とすばやい効果発現

散布2時間後の雨でも影響なく、すばやい効果発現が確認できて安心です。



理想の水田管理を、
あなたに。



ノブレクト™ 乳剤

Rinskor™ active

リンズコアの
様々な情報は
こちらから →



- 登録番号：第24688号
- 有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル (通称：リンズコア) …… 2.1%
シハロホップブチル …… 10.6%
- 危険物：第4類第三石油類

除草剤分類 1, 4

水稲用除草剤

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アールあたり 使用量	総使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、セリ	移植後20日～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	薬量：250mℓ 希釈水量： 25～100ℓ	本剤：2回以内 シハロホップブチル：3回以内 フロルピラウキシフェンベンジル：3回以内	落水散布、 ごく浅く湛水して散布、 又は湛水散布
直播水稲	一年生雑草 ミズガヤツリ、 ウリカワ、セリ	稲3葉期～ ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで			乾田・落水状態で 雑草茎葉散布 又は全面散布

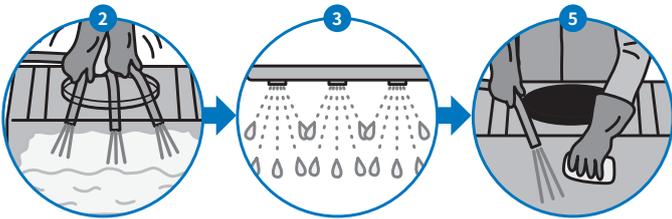
■上手な使い方

- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラなどには効果が劣るので、有効な除草剤と組合せて使用してください。
- 展着剤は加用しなくても十分な効果があります。
- 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがあります。乾田または落水状態で散布した際は早め(3日以内)に入水してください。
- 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合がありますが、収量に対する影響は認められておりません。

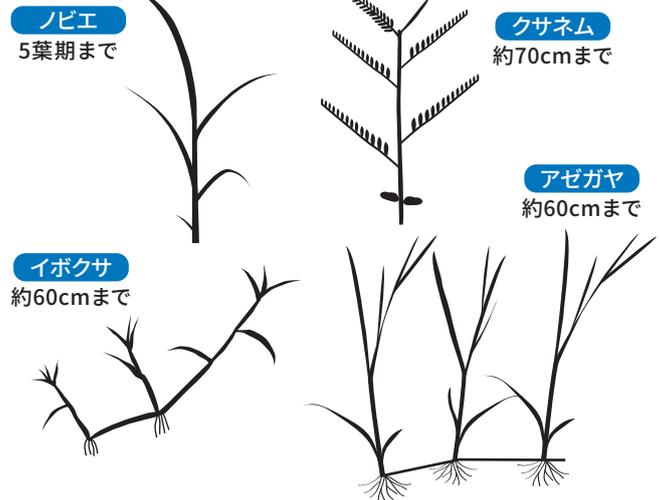
■ドリフト防止と散布器具の洗浄方法

- 散布時は、周辺作物に薬液が飛散しないよう十分注意してください。
- ノブレクト乳剤を使用した散布器具は、使用後速やかに以下の手順で十分に洗浄してください。散布器具内に残った薬液は、他の作物に影響を与えることがあります。

- 1 使用残りの薬液が生じないように調整し、使い切る。
- 2 タンク内壁を念入りに洗浄しながら、タンク容量の10%以上の水をためる。
- 3 ホース、ノズルから洗浄水を排出する。
- 4 2、3の作業を3回以上繰り返す。
- 5 散布器具の外部を丁寧に洗浄する。



■主な雑草の防除目安 早めの散布を心がけてください。



⚠ 使用上の注意

- 使用量にあわせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液は使用当日に調整してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布してください。
- 散布する際は、薬液が雑草に十分かかるような状態にして、水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布してください。
- 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにしてください。
- 散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。マツバイは発生期、ミズガヤツリは草丈30cmまで、ウリカワは6葉期まで、セリは増殖期までに散布してください。
- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラには効果が低いため、それら雑草が混在するほ場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用してください。
- 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがあります。乾田または落水状態で散布する際は早め(3日以内)に入水してください。
- 薬害のおそれがあるので重複散布をさけてください。
- 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。

- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ④稲の根が露出している水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の3葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけてください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合がありますが、収量に対する影響は認められておりません。
- 散布機、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に洗浄し、洗浄液は河川等に流さず、環境に影響をあたえないように適切に処理してください。
- 空瓶等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 危険物第四類第三石油類に該当するため、火気には十分注意してください。
- 火気や直射日光をさけ、食品と区別して、低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記載しましょう。

本資料は2024年2月現在の知見に基づき、作成されています。